

テーマ

サブGHz帯を利用した位置管理システム

概要及び目的

戸田建設株式会社 池端裕之氏より、サブGHz帯を利用した位置管理システムを適用した現場作業所の安全や作業状況等の管理についてご講演頂き、現場作業所管理の未来像について活発な意見交換を行いました。

内容

作業所統合管理の全体像
サブGHz帯を利用した位置管理システム
映像管理システム
今後の予定

研修会詳細

日時	2018年6月15日 (金) 16:00~17:30 (質疑・休憩含む)	参加者	20名
場所	一般財団法人先端建設技術センター 大会議室		
講師	戸田建設株式会社 池端裕之氏		

備考

《サブGHz帯を利用した位置管理システム》

当システムは、無線を発信する腕時計型バイタルセンサーを作業員に装着させることで、地下空間や屋内であっても、現場内のどこで誰が作業をしているのか、事務所にあるパソコンやタブレット端末を用いて把握することが出来る。高所作業車などの資機材についても、無線を発信するタグ(無線タグ)を装着することで、同様に位置を把握することが出来る。なお、無線はサブGHz(920MHz)帯を採用しており、長い飛距離と高い透過性能、遮蔽物に対する回り込み性能を持ち、例えば壁などの障害物があっても、約50~80mおきにアンテナを設置することで、位置を検出することが出来る。

<http://www.toda.co.jp/news/2018/20180227.html>

建築施工管理におけるICT活用について

2018年6月15日

本社 建築工務部工務課長
生産システム推進課長
技術開発センター施工革新ユニット サブマネージャー



池端 裕之

人がつくる。人でつくる。
戸田建設

